

RPPC メールマガジン 第 707 号

リサイクルポート推進協議会(平成 29 年 12 月 27 日発行)

■先週・今週の報道発表

1. 中央環境審議会循環型社会部会特定有害廃棄物等の輸出入等の規制の在り方に関する
専門委員会、産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会有害廃棄物等
越境移動ワーキンググループ合同会議(第6回)の開催について

【環境省 12 月 25 日発表】

2. 平成 30 年度 港湾局関係予算決定概要
3. 平成 30 年度環境省重点施策集(環境省 平成 29 年 12 月)
4. 物流分野における CO2 削減対策促進事業(国土交通省連携事業)

■RPPC 事務局からのお知らせ

次週のメールマガジンは新年のため休刊とします。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 30 年度港湾予算約 2 4 7 3 億円、戦略港湾・クルーズ等重点
2. 名古屋港金城ふ頭南側耐震岸壁、アセスが最終段階
3. 境港管理組合、新年度にターミナルビルに着工(外港竹内南地区)

=====

◇先週・今週の報道発表

1. 1 月 9 日(火)に中央環境審議会循環型社会部会特定有害廃棄物等の輸出入等の規制の在り方
に関する

専門委員会、産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会有害廃棄物等
越境移動ワーキンググループ合同会議(第6回)を開催します。 【環境省 12 月 25 日発表】

～詳細につきましては下記 URL をご確認ください～

<http://www.env.go.jp/press/104954.html>

.....

2. 平成 30 年度 港湾局関係予算決定概要(国土交通省港湾局)

～詳細につきましては下記 URL をご確認ください～

<http://www.mlit.go.jp/common/001215288.pdf>

.....

3. 平成 30 年度環境省重点施策集（環境省 平成 29 年 12 月）

～詳細につきましては下記 URL をご確認ください～

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h30/h30juten2-sesakushu.html>

.....

4. 物流分野における CO2 削減対策促進事業（国土交通省連携事業）

～詳細につきましては下記 URL をご確認ください～

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h30/h30juten2-sesakushu/043.pdf>

2 ページ

- 1（ウ） モーダルシフト促進支援事業
- 2（ア） IoT を活用した物流低炭素化促進事業

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

本年のメールマガジンは本号が最終となります。

来年は 1 月 10 日よりスタートとなります。

ご購入ありがとうございました。

来年も引き続きよろしく申し上げます。

【事務局一同】

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1.30 年度港湾予算約 2473 億円、戦略港湾・クルーズ等重点

政府は 12 月 22 日、平成 30 年度予算案を閣議決定した。港湾局関係予算は 2473 億 2800 万円（国費）で前年度比約 4.7 億円の微増と

なった。国際コンテナ戦略港湾(京浜港・阪神港)関連として、約4億円増となる国費766億円(公共・非公共合計)を計上したほか、バルク戦略港湾関連は77億円(前年度74億円)、クルーズ関連として143億円(137億円)、地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備に122億円(113億円)を配分した。また4件の新規制度等の創設が認められた。

30年度予算案では、①被災地の復旧・復興、②生産性向上による成長力の強化、③国民の安全・安心の確保、④地域の活性化と豊かな暮らしの実現、といった4分野を強気に推進することを基本方針に掲げている。

一方、新規制度については、▽AIターミナルの実現(非公共)、▽LNGバンカリング拠点形成に向けた支援制度(公共)、▽災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業の拡充(海岸省庁共同要求)、▽港湾における特定外来生物の定着防止対策への支援制度の創設(公共、29年度補正予算で創設)の4件が認められた。

—

2. 名古屋港金城ふ頭南側耐震岸壁、アセスが最終段階

名古屋港金城ふ頭南側地区の新たな耐震岸壁、ならびにふ頭用地となる埋立計画が進捗している。作業中の名古屋港管理組合では、既に縦覧を終えたアセス準備書への意見についての公聴会手続きに今後入り、問題が無ければ引き続き評価書の作成、同縦覧へと進めていく。これにより30年度前半にはアセス手続きは終了し、名古屋港管理組合、中部地方整備局名古屋港湾事務所はそれぞれの所管事業についての公有水面埋立の免許出願、承認申請へと進むことになる。同事業の工事期間は平成31年度～34年度が見込まれている。

同事業は金城ふ頭南側地区において、楕形になっている既設の古いふ頭間の水面を埋立、前面に水深12m岸壁延長260mの耐震強化岸壁1バースを直轄で整備する。名古屋港管理組合はふ頭用地や港湾関連用地となる約16haの埋立を行う。

同岸壁では国内で生産された新車や中古車、海外からのトランシップも含めた完成車の取扱拠点として機能させ、名古屋港で不足している大型船の自動車運搬船の接岸やモータープールなどとして活用する。

—

3.境港管理組合、新年度にターミナルビルに着工(外港竹内南地区)

境港管理組合は境港外港竹内南地区の整備で、新年度からターミナルビルの建設に入っていく。年明けの1月にも実施設計を終了、3月末に工事契約を行って30年度から現地に着手する予定。31年秋の竣工を目指している。またターミナル地区の前面には貨物取扱ヤード、並びに倉庫上屋も予定している。管理組合では直轄が別途事業を進めている岸壁整備の進捗に合わせ、施設整備を進めていく予定。

境港竹内南地区では中国地方整備局境港湾・空港整備事務所が、水深10m岸壁延長280m(取付部含め約300m)の複合一貫輸送ターミナルの整備を進めている。北東アジアを結ぶ国際定期フェリーや国内RORO船、国際クルーズ船の受け入れ機能を担う。同整備はこれまでに岸壁予定海域の地盤改良やケーソン製作等の調達が進み、30年度後半には岸壁の本体築造へと進む予定になっている。

管理組合が整備するターミナルビルはフェリーやクルーズ客の入出国手続きを行うCIQ機能を設けることにしており、施設は鉄骨造り1階(一部2階)建で、延床面積は3300平方m。また貨物倉庫上屋なども別途整備する。

【港湾空港タイムス 12月25日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設(株)

部会員：青木 信裕 新日鐵住金(株)

山崎 和宣 五洋建設(株)

安藤 彰 東京都

ツネイシカムテックス(株)

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団(内) 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。